



(刈り取った稲の一部です。農地内)

故郷は無くさない？ 稲架掛け

はさめけ

秋が暑い日があるとは言え季節はすっかり秋です。耕作放棄地の自立中、ていねいに世話をし育てあげてきた稲も、ぎゅぎゅと刈り取られていききました。今ではほとんど見ることもできなくなった「稲架(はさ)」。穴水町

にはごく一部で「稲架掛け」の風景を見ることのできる場所があります。それは故郷の「原風景」です。能登半島地震によって耕作そのものが困難になった地域、集落もありず、無くしたくない風景です。

大学生による 復興支援稲架下り

9月12日に続いて9月21日も県内外の大学生が復興支援ボランティアにかけつけました。この日は前回の続きの旧能登鉄道・鹿野駅・古君駅と、明子寺の鎌倉屋敷(源頼朝の墓)の整備活動を行いました。鎌倉屋敷は能登半島地震のため約70基ある五輪の塔ほとんどが倒壊し壊滅状態でした。古君駅も鎌倉屋敷も学生たちの奮闘で少しずつ整備されました。

古君駅には、京都の同志社女子大学、埼玉県立の自由の森学園、県内の北陸学院大学(二の田中先生が世話をしてくれました)の学生19名、あけ塾(4名)の他、写本議員、中越観光交流課の長が参加しました。なんと、鹿野や所の史跡を所の蔵産として表に出せたいとのことで、鎌倉屋敷については次号でも紹介したいと思います。



↑
古君駅
さかんになりました。
あつかりました。

アサギ集 所断には鹿野がク駅あり。これはアサギ集集し。あけ塾へ。

相談情報は「あした塾」までお寄せください。(連絡先は表題横にあります。)

街の御意見番 9月議会から 各議員の一般質問

9月9日に行われた宇水町議会での各議員の一般質問をお知らせします。質問の詳細や答弁については、宇水町ホームページにて後日発行される議会により確認してください。
(議員の敬称は略させていただきます。)

山泉一明 ① 町の工事の状況 ② 海岸部の集落の地盤変動に対する対策 ③ 人口流出とインフラ維持 ④ 医師・看護師の業務負担の軽減対策

宮本 浩 ① キャッスル真名井等の施設の状況 ② 復興公営住宅 ③ 被災者に対する医療費の一部負担免除の状況

山内政一 ① 高津対策 ② 当村市政の一期目の評価と二期目への意欲について

山本祐孝 ① 奥能登の玄関口再生 ② 宇水総合病院の将来の運営について

湯川 浩 ① 町内事業者の事業促進支援 ② 住宅の耐震改修を進める方策 ③ 町の公民館のトイレ不足対策 ④ ガスステーション場所

伊藤繁男 ① 所有地の宅地化 ② 地域コミュニティの活性化 ③ 林道荒廃線の整備

この片づけが進まない理由は？

あの地震から1年9ヶ月。国道249号線沿いの倒壊した建物はぶーっとこのままです。→
何故解体の障壁になっているのでしょうか？



片づけ出る看板

下湯川地区にこんな看板が…。地域の人たちが材料などを持ち寄り作製したものであ。

キャッスル真名井「湯川地区」再建断念

能登半島地震による被害が激しい宇水町に施設「キャッスル真名井」と併設する「湯川地区」は、その再建を断念し、解体することになりました。跡地についてはホテルなどの宿泊業誘致を含め再開発の方向に行くようです。

医療費

被災者に対する医療費一部負担金の免除については、他市町とのやりあいで6月末で免除を終了している状況。逆に被災者に寄り添った施策を考へ、場合、他市町に働きかけて支援再開を求めていくべきかと思いつく。議会最終日、この支援再開を求める意見書の提出を要望する請願を継続審査としました。

